

副代表幹事
地方分権・道州制委員会 委員長
会員委員会 委員長

柏木 斉

リクルートホールディングス
取締役相談役



Contents

■ 特集	
2013年 通常総会・代表幹事所見	02
■ Doyukai Report	
公開シンポジウム 「産学官連携によるグローバル人材育成」	11
浜岡原子力発電所・東清水変電所視察 静岡経済同友会静岡協議会幹部との意見交換 「原発立地地域の現状と課題」	13
2020年オリンピック・パラリンピック 招致特別シンポジウム 「世界に勝つチームづくりと人材の育て方」	15
■ Seminar	
第122回 TCERセミナー 「グローバル化・技術進歩と大学教育の役割」 川口 大司 氏 一橋大学大学院 経済学研究科応用経済専攻 准教授	18
■ Column	
巻頭言 柏木 斉 「デジタル再考」	01
リレートーク 野田 万起子 「東京オリンピック・パラリンピック招致が日本にもたらすもの」	17
TOKYO2020 夢の力 荒川 静香 氏 「夢と希望につながるオリンピックをぜひ日本で」	21
私の思い出写真館 加藤 英輔 「オンフルールの灯台」	22
新入会員紹介	19

「デジタル再考」

生活スタイルの変化によって、あらゆるものがデジタル化され、今後もICT依存の流れは止まらないでしょう。ICTは、よりニーズに合うように進化し続け、私たちの生活は、急激に便利になりました。

ビッグデータの高度な解析により、今や、利用者一人ひとりの嗜好に合った色や言葉遣いなどをカスタマイズして提供する「one to one」のネット広告も実現可能になりました。また、買い物を生活の楽しみと捉えているのか、他の製品と比較して納得感を追求したいのかなどを、利用者の行動履歴から分析し、より購買につなげるパーソナライゼーションもますます進展しています。

「ICT利用の目的は、時間の削減、それによる余暇の充実」といわれてきましたが、生活者のメディア接触の現状を分析する博報堂DYメディアパートナーズメディア環境研究所の「メディア定点調査2012」によると、東京の週平均メディア接触時間は、インターネット以外はほぼ横ばいであるのに対し、インターネットだけがこの4年間で一週間に5時間近く増加しています。つまり、削減できた時間を、再び、デジタルの世界で費やしている現状がうかがえるのです。

利用者の思いを先読みした過剰なサービスにより、無自覚的にインターネットを利用しているのかもしれませんが。このままでは、情報を咀嚼する能力や判断する能力が劣化する気がします。情報処理能力の非常に高い人は、過剰サービスには拒否反応もあると聞きます。目的があつてこそその手段であるべきなのに、手段が目的化しているのではないのでしょうか。「デジタル化」について再考してみると、ネットは、あくまで「出会いの場」であり「アイデアの創出を助ける機械」であります。

豊かな生活を実現するには、デジタル化、ICTの進化を受け入れながら、自分自身の感性を磨き、創造力を持って、インターネットと共存することが求められています。

今月の表紙：世界の文様シリーズ

【東アフリカ・ファブリック柄】

ケニアなどで使われる薄手の一枚布、カンガの文様の一つです。どれも色鮮やかで、用途はスカートなどさまざまです。